



2020年度 上期決算説明資料

2020.11.12

明治ホールディングス株式会社

1. 新型コロナウイルス感染症への対応
2. 2020年度 上期総括
3. 2020年度 下期・通期見通し
4. 事業別の取り組み

- 本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定はご自身でご判断をお願いいたします。
- 本資料に記載された業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料には、薬品(開発中の製品を含む)に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

1. 新型コロナウイルス感染症への対応

	事業への影響
全体	<ul style="list-style-type: none">・ 欧米における第2波の拡大・ 所得減少や将来不安による生活防衛意識からデフレ環境へ・ 健康・予防意識の高まり
食品	<ul style="list-style-type: none">・ 消費者のデフレ意識の高まり・ 生活スタイル変化により業務用の市場縮小、家庭用の市場拡大・ インバウンドの縮小、ECの拡大
医薬品	<ul style="list-style-type: none">・ 通院スタイルの見直しによる受診抑制継続

短期

- 幅広いポートフォリオを活用し、コロナ禍を乗り越える
- 価値訴求により自ら需要を喚起
- コストコントロールの徹底

中長期

- グループ経営視点での最適ポートフォリオの構築
- 連続的なイノベーションでお客様の期待を超える価値を創造

2020重点方針

1. コア事業での高シェア・高収益の実現
2. 海外市場での成長基盤の確立に向けた積極的な事業拡大
3. 健康を軸とした新たな価値領域での仕掛け
4. 構造改革の継続的な実行と個別事業課題の克服
5. 経営基盤の進化とサステナビリティの推進

2023中計コンセプト

1. ROICの導入による事業ポートフォリオ管理の徹底
2. サステナビリティ活動と一体となった事業成長の実現
3. グループマネジメントの強化（食品と医薬品のシナジーの追求）
4. 財務戦略の進化（財務規律を遵守しつつ成長投資と株主還元へシフト）



2. 2020年度 上期総括

2020年度 上期連結決算のハイライト

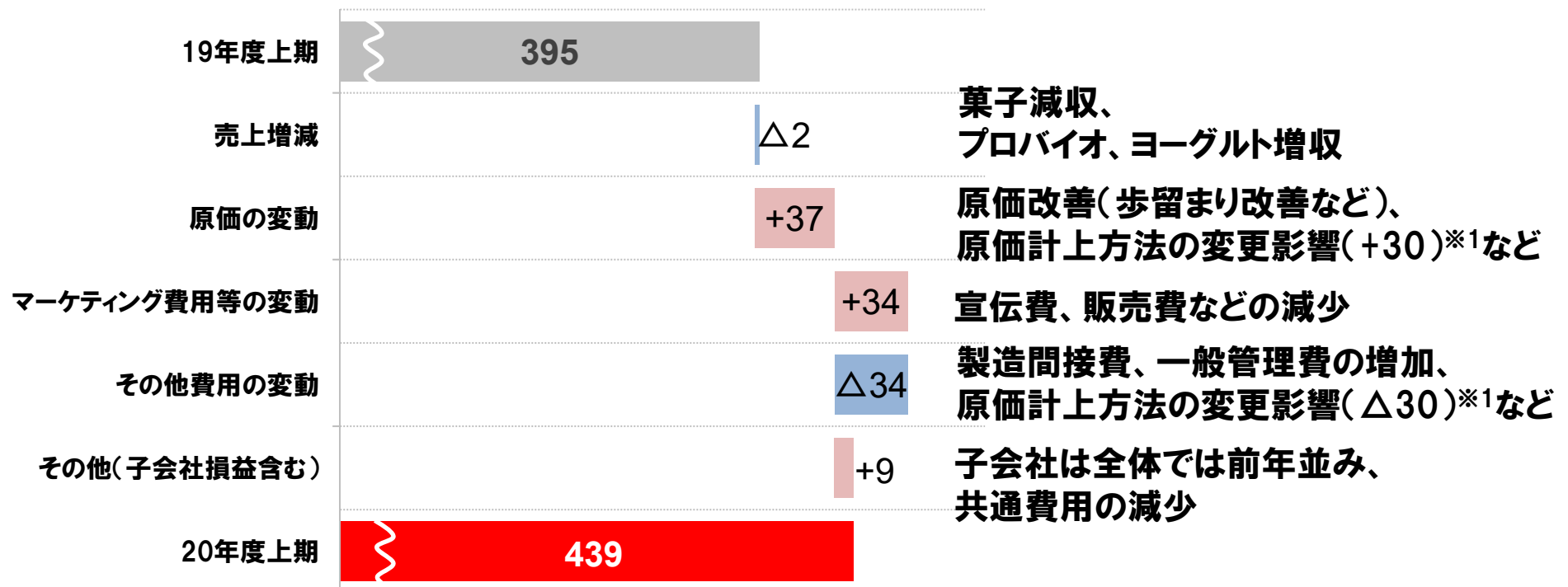


(億円)	19年度 上期実績	20年度 上期実績	前年同期比	通期計画 進捗率	20年度 通期計画
売上高	6,180	5,849	△5.4% △331	46.7%	12,530
営業利益	475	504	+5.9% +28	45.8%	1,100
営業利益率	7.7%	8.6%	+0.9pt	—	8.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	318	287	△9.8% △31	41.3%	695
EPS	219.68円	198.05円	△21.63円	—	479.05円
1株当たり配当金	70円	75円	+5円	—	150円
設備投資額	387	332	△14.2% △55	39.0%	852

- 売上高は食品セグメント、医薬品セグメントともに減収
- 営業利益は食品セグメントが増益に寄与
- 親会社株主に帰属する四半期純利益は特別損失の増加や非支配株主に帰属する利益の影響により減益

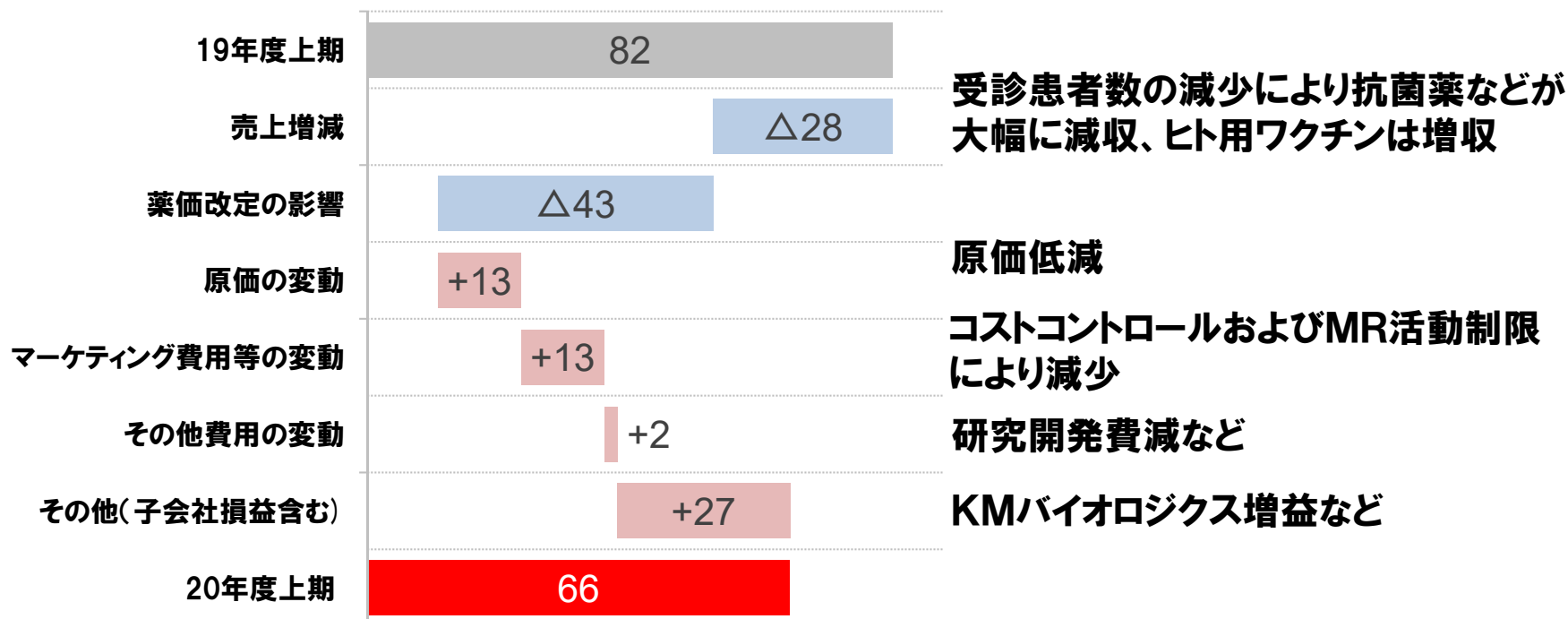
(億円)	19年度 上期実績	20年度 上期実績	前年同期比	通期計画 進捗率	20年度 通期計画
売上高	5,232	4,965	△5.1% △266	47.7%	10,414
営業利益	395	439	+11.1% +43	47.2%	930

営業利益増減分析 (億円)



(億円)	19年度 上期実績	20年度 上期実績	前年同期比	通期計画 進捗率	20年度 通期計画
売上高	953	891	△6.6% △62	42.0%	2,123
営業利益	82	66	△19.7% △16	36.7%	180

営業利益増減分析 (億円)





3. 2020年度 下期・通期見通し

2020年度 通期連結見通し



(億円)	19年度 実績	20年度 計画	前年同期比
売上高	12,527	12,530	+0.0% +2
営業利益	1,027	1,100	+7.1% +72
営業利益率	8.2%	8.8%	+0.6pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	673	695	+3.2% +21
EPS	464.08円	479.05円	+14.97円
1株当たり配当金	150円	150円	—
配当性向	32.3%	31.3%	△1.0pt
ROE	12.4%	12.0%	△0.4pt
設備投資額	711	852	+19.9% +141
営業CF	1,141	1,209	+67
フリーCF	432	12	△420

● 修正なし

2020年度 下期連結見通し

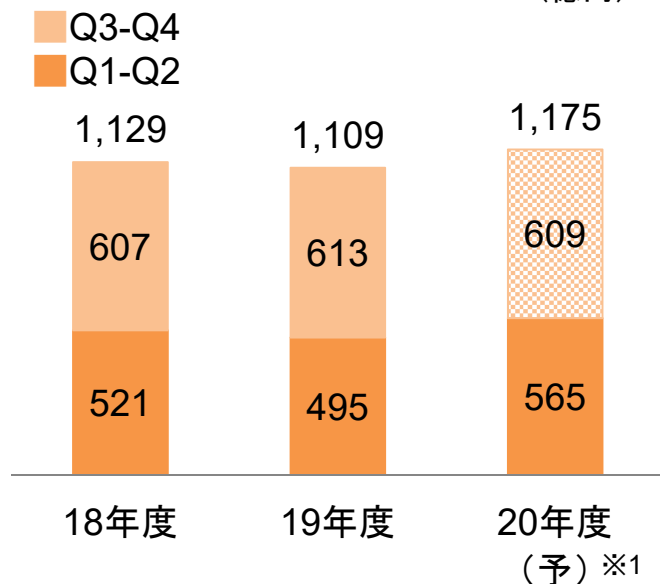


(億円)		19年度 下期実績	20年度 下期計画 (差し引き)	前年同期比
連結	売上高	6,346	6,680	+5.3% +333
	営業利益	551	595	+8.1% +44
	営業利益率	8.7%	8.9%	+0.2pt
	親会社株主に帰属する 四半期純利益	354	407	+15.0% +53
食品	売上高	5,263	5,448	+3.5% +184
	営業利益	477	490	+2.7% +12
医薬品	売上高	1,089	1,231	+13.0% +142
	営業利益	77	113	+46.8% +36

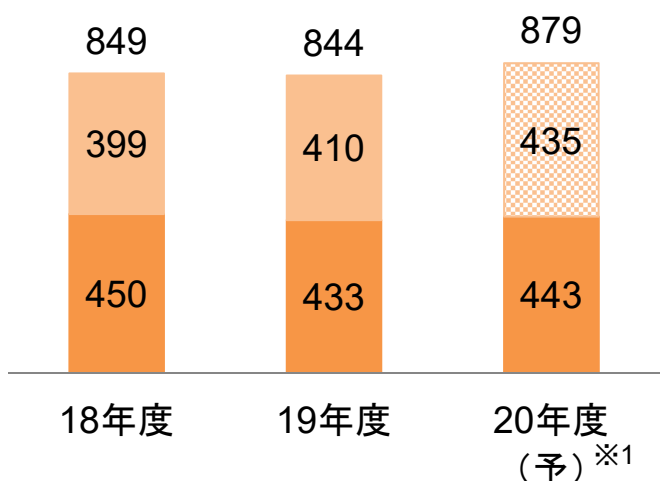


4. 事業別の取り組み

売上高(プロバイオ) (億円)



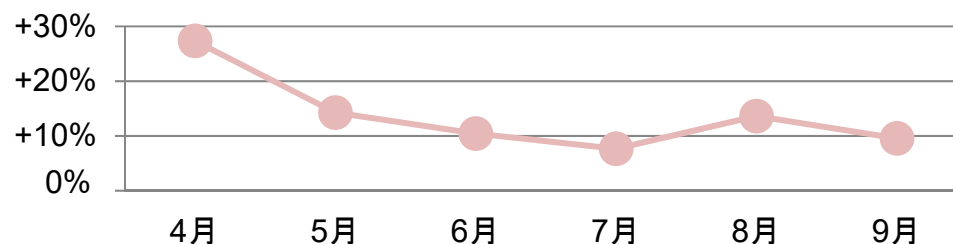
売上高(ヨーグルト)



プロバイオ

ヨーグルト

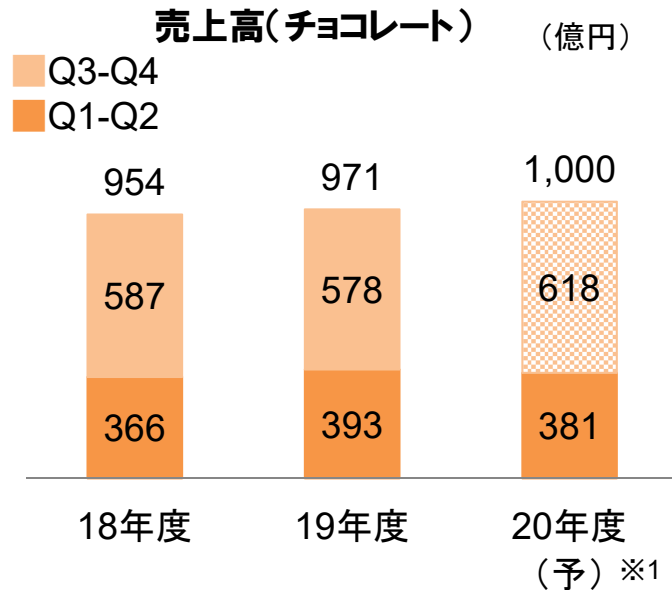
月次売上高 前年増減率(プロバイオ)



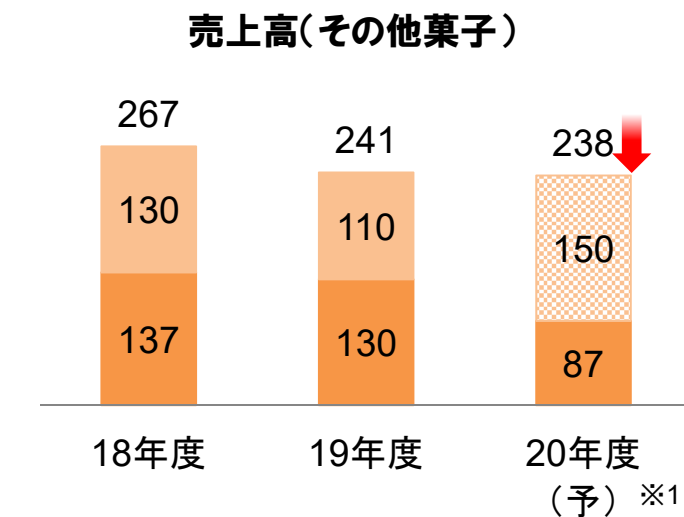
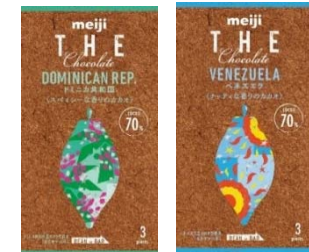
- 予防・健康意識の高まりにより好調を維持
- 新TVCMを投入、店頭での価値訴求も強化し持続的な成長を目指す
- R-1大容量は全国展開 (2020年10月)



- ブルガリアは内食需要によりプレーンタイプや4Pが好調。のむヨーグルトも大容量が好調で前年を超過
- 食シーンや健康価値を訴求。店頭での情報発信を強化

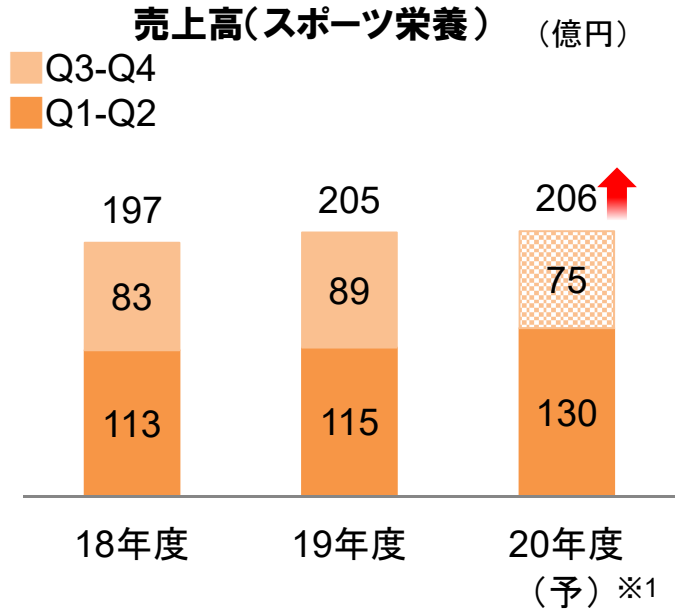


- スーパーは好調もCVSが不調
- 「チョコレート効果」は大袋の供給能力をアップ、小袋や新商品により間口を拡大
- 「オリゴスマート」はラインアップ強化により好調、機能訴求を強化
- 冬季限定品の取り組み強化や大袋商品の発売により在宅需要を喚起
- 「ザ・チョコレート」は大幅リニューアル



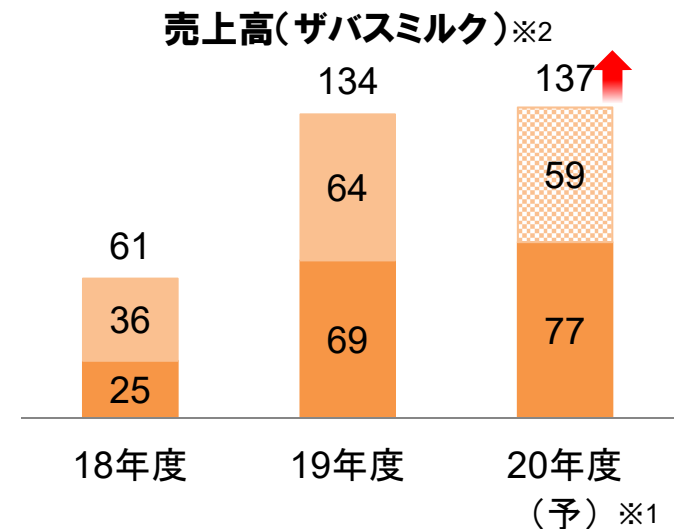
その他菓子

- グミ・ガムは通勤・通学やオフィス需要がなくなり苦戦
- テレワークや在宅での食シーンを訴求



スポーツ栄養(ザバス・ヴァーム)

- **スポーツ栄養は、運動不足解消やダイエット訴求を展開**
- 「ザバス」は好調を維持、女性若年層のユーザーが拡大
- 倉敷新工場で品質および生産性を向上
- 「ヴァーム」は上期苦戦も、ダイエット訴求で徐々に回復



ザバスミルク

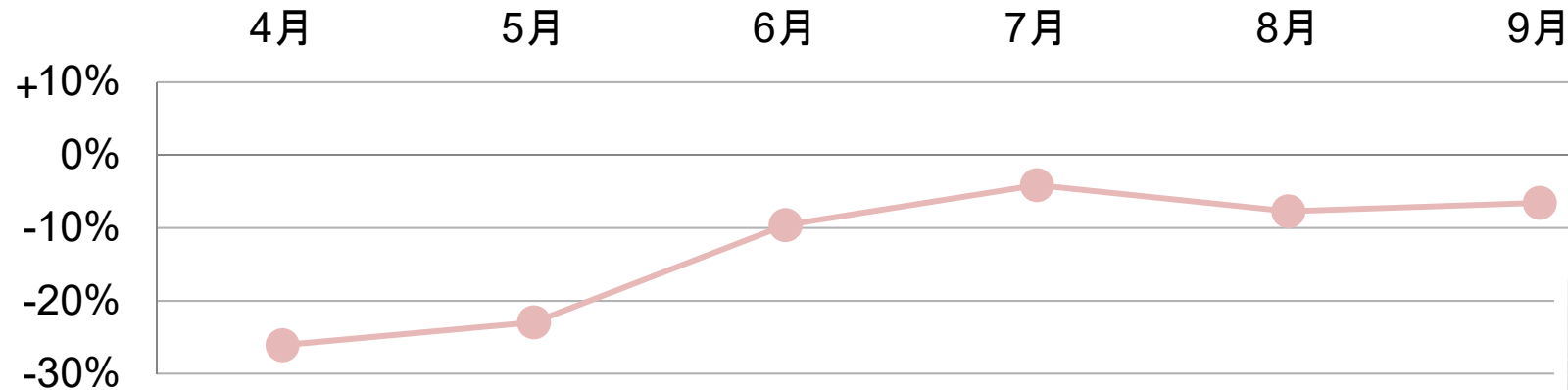
- **「ザバスミルク」は新TVCMを投入し新たな顧客層を開拓**
- 常温保存できるブリックタイプが好調
- 間口拡大に向け女性向けの「for Woman」を積極拡売



※1 20年度のQ1-Q2は実績値、Q3-Q4は通期計画からの差し引き

※2 「ザバスミルク」は発酵デリーの売上に含まれる

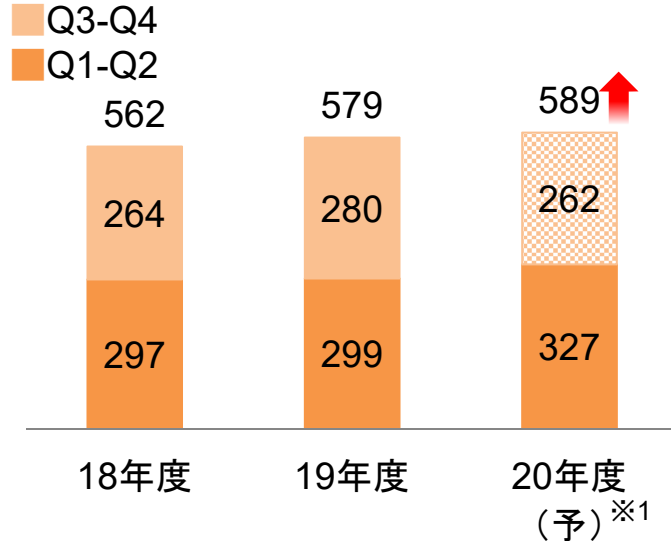
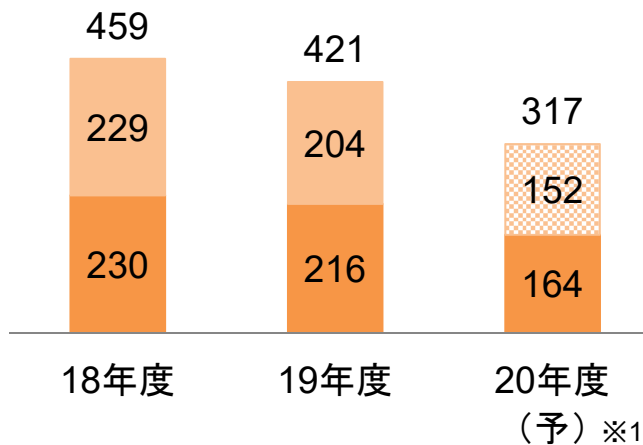
月次売上高 前年増減率(業務用食品)



- **業務用食品は商品により差はあるものの徐々に回復**
 - ・ クリームは、製パン、洋菓子チェーン、CVSの洋菓子向けの販売が好調で6月からは大きく回復
 - ・ バターは、外食・ホテル向けの販売が苦戦するも徐々に回復
 - ・ チョコレートは、インバウンドや土産菓子の需要減により落ち込みが大きく、回復には時間がかかる見込み



売上高(おいしい牛乳) (億円)

売上高(その他牛乳類)^{※2}

● おいしい牛乳

- ・ 巣ごもり消費により900mlが伸長
- ・ 「明治おいしい牛乳(450ml)」の全国展開が完了(2020年9月)

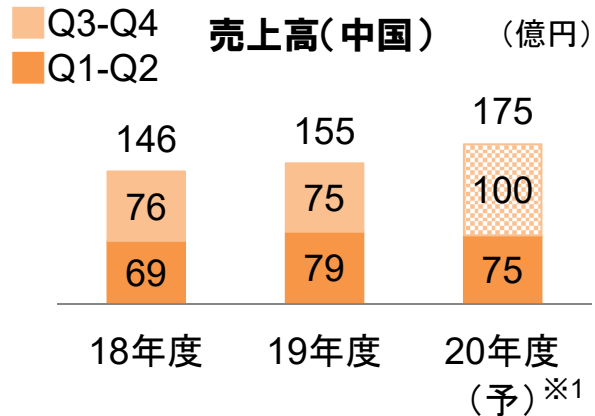


● その他牛乳類

- ・ 「明治牛乳」の全国終売(2020年3月)、「明治ラブ」の販売エリア縮小により減収となるも計画通り

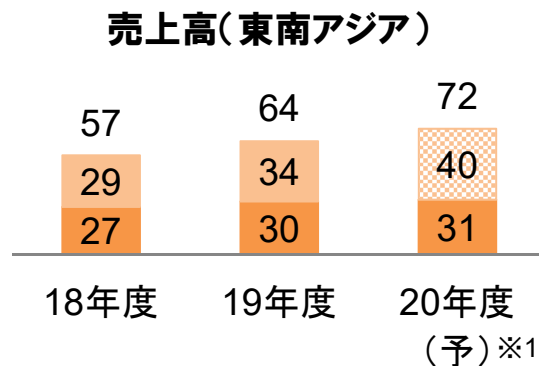
● コスト低減の取り組み

- ・ 主力工場のケーブルラインの撤去完了
- ・ 工場におけるコスト削減の継続
- ・ 営業における物流費、拡売費の削減



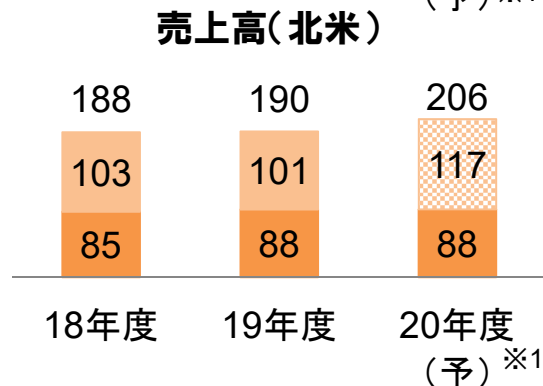
● 中国

- ・牛乳・ヨーグルト:市販は好調、業務用も回復傾向
- ・菓子:市販は堅調、婚礼向けは回復せず
- ・アイス:巣ごもり消費によりマルチ商品が好調
- ・栄養:「ザバス」は8月販売開始



● 東南アジア

- ・シンガポールは輸出先の欧州や中東などの感染拡大の影響あり
- ・台湾は粉ミルクなど栄養食品が堅調な動き



● 北米

- ・コロナ禍による買い溜めが発生したものの、その後の外出制限や入店制限により前年並みの推移

「TANPACT(タンパクト)」

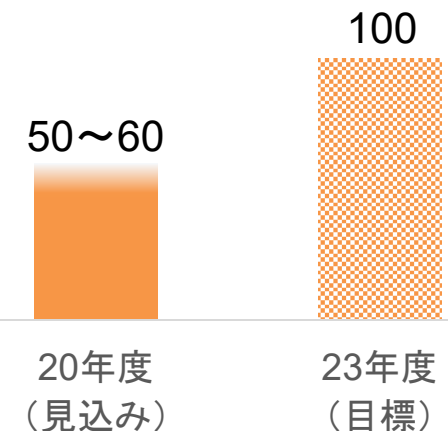
タンパクト
TANPACT

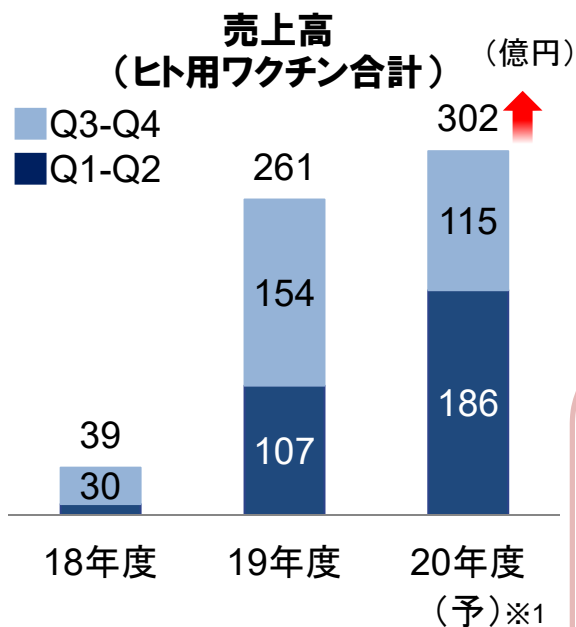
- 共通理念: 乳たんぱく質で日本を元気にする
 - ・ 現代人のたんぱく質摂取量は1950年代と同水準まで低下
 - ・ 低栄養という社会課題の解決に明治ならではの商品で貢献
- 取り組み内容
 - ・ ラインアップ拡大により売り場で存在感をアップ
 - ・ 他社との協業により更に手に取りやすく(2020年10月~11月)
 - 山崎製パン: スティックパン、プリン
 - 伊藤ハム米久: サラダチキン、ソーセージ

2020年春 **14**SKU → 2020年11月 **26**SKU ※1



当社売上高(タンパクト)(億円)

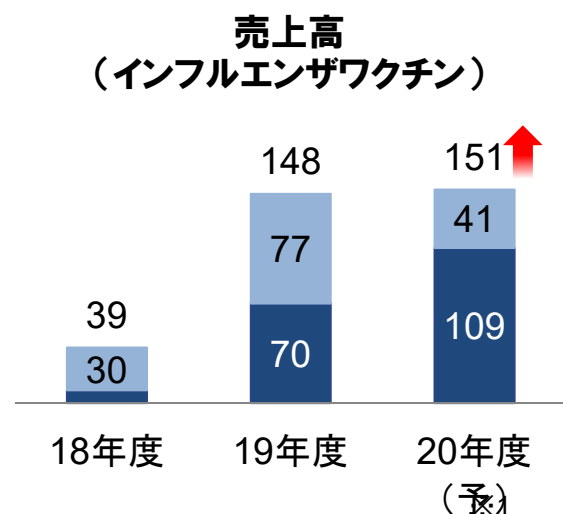
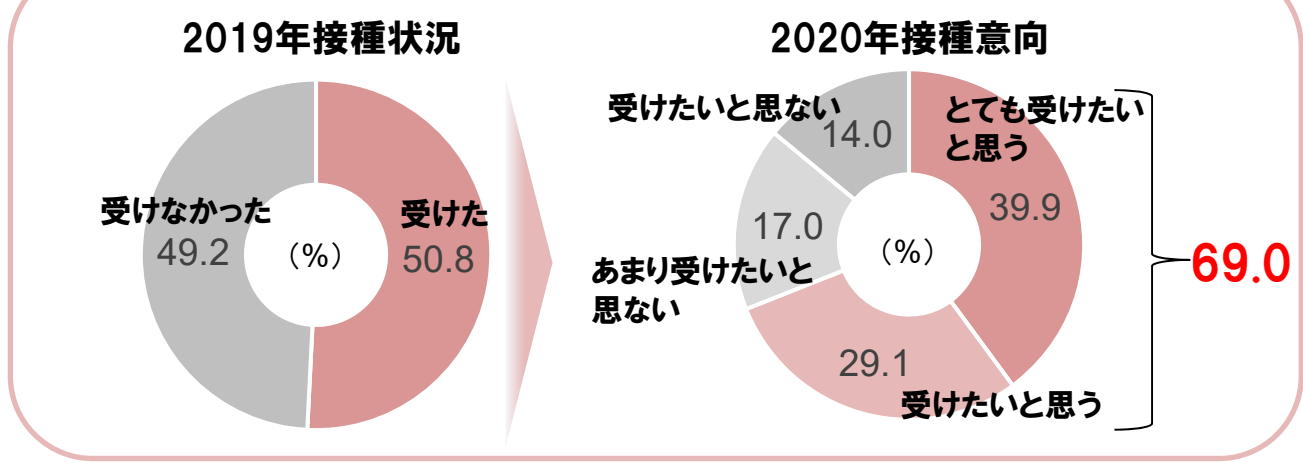




● インフルエンザワクチン

- ・ 順調な生産により上期は前年を大幅に超過、通年で前年に比べ大幅な供給数量の増加を目指す
- ・ 接種意向の高まりにより、消化も順調に進む見込み

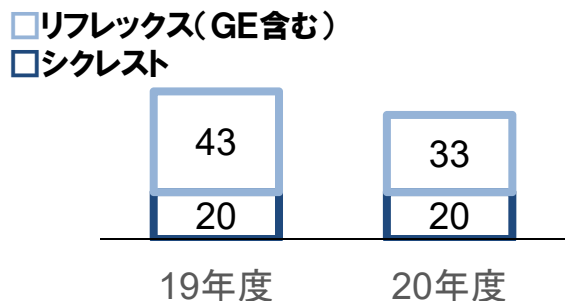
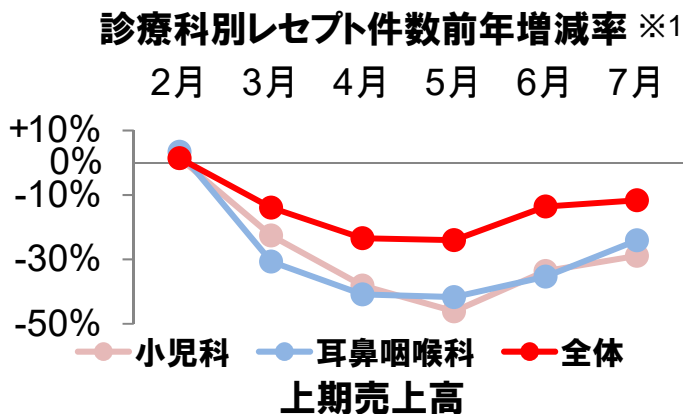
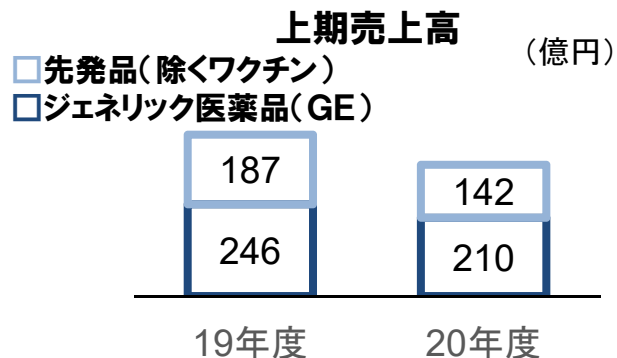
「パパとママのインフルエンザ予防接種実施意向」に関する調査※2



● 定期接種ワクチン(4種混合、日本脳炎など)

- ・ 販売移管直後で前年実績の少なかった1Qに続き、2Qも順調に推移
- ・ 接種率の低下が見られるが、徐々に回復を見込む

構造改革を進め、固定費の削減と生産性の向上により利益創出を図る

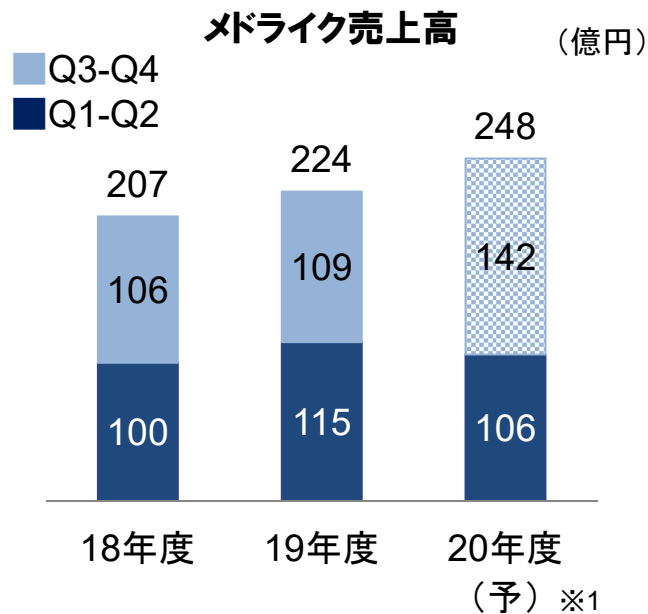


抗
菌
薬

- マスク着用と手洗いの習慣化に加え、小児科や耳鼻咽喉科では受診を控える状況が続く。下期も同様の傾向を想定
- 医療に欠かせない薬剤として安定供給に努める

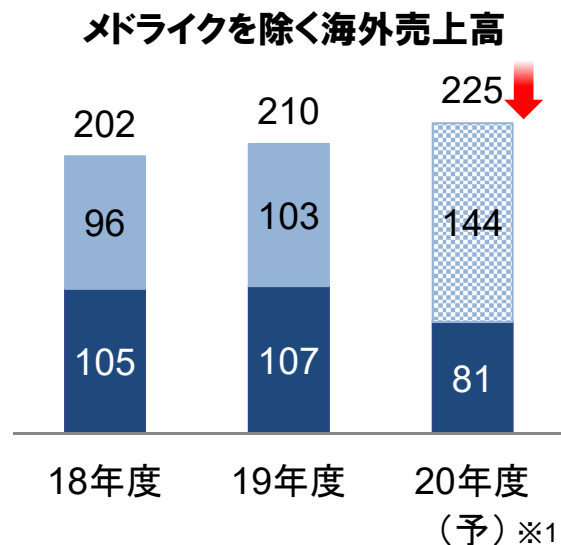
抗
う
つ
薬
・
統
合
失
調
症
薬

- 受診抑制の影響は限定的、市場での販売は数量ベースでは前年を上回る
 - ・ 統合失調症領域に特化した組織を本年10月より新設、「シクレスト」の販売を強化
 - ・ 抗うつ薬「リフレックス」は薬価改定の影響を大きく受けるが、GEを含む数量ベースでは前年を超過



メドライク

- インドでのロックダウンによる工場稼働率の低下や流通機能の麻痺等があったものの、Meファルマ向けGE出荷を加えた全体では順調
- 今期の製造受託事業の受注は計画通り確定、欧州や南アフリカでの感染拡大が今後の懸念材料



欧州・アジア

- 欧州では新型コロナ感染急拡大により各地でロックダウンが実施される。生産活動は継続も先行きは不透明な状況
- インドネシア、タイでは新型コロナの影響により受診抑制が続く

- **KMバイオロジクスの不活化ワクチン^{※1}開発状況**
 - 2020年5月、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)の公募研究開発課題「新型コロナウイルス感染症に対するワクチン開発(企業主導型)」に採択。基礎研究、非臨床試験、臨床試験(I相II相)の研究助成を受けワクチン開発をスタート
 - 2020年7月、厚生労働省「ワクチン生産体制等緊急整備事業」の公募に採択。2021年度末までに半年で3,500万回分を生産できる体制の整備を進める
 - 2020年8月、AMEDの2次公募に採択。第III相臨床試験の研究助成を受ける
 - 年度内に臨床試験を開始し、2023年度の上市が目標
- **アストラゼネカ社開発ワクチンの国内供給に関する協業**
 - KMバイオロジクスがアストラゼネカ社から原液の提供を受けて製剤化(バイアル充填・包装)した後、Meiji Seika ファルマが保管・配送を行う。3社で協力して国内流通を実現

※1 不活化ワクチンとは、大量に培養されたウイルスや細菌からウイルス粒子や細菌の菌体を集めて精製した後、加熱やホルマリン等の薬剤を用いて処理をし、感染力や毒力をなくした病原体やその成分で作ったワクチン。

参考資料：財務データ

2020年度上期 連結経営成績



(億円)	20年度 上期実績	前年同期比	主な内容
売上高	5,849	△5.4% △331	— (詳細はP7-9参照)
営業利益	504	+5.9% +28	— (詳細はP7-9参照)
営業外収益	21	△30.3% △9	—
営業外費用	19	△1.8% △0	<ul style="list-style-type: none"> ・為替差損(△3) ・持分法による投資損失(+2)
経常利益	506	+3.9% +19	—
特別利益	10	△11.9% △1	<ul style="list-style-type: none"> ・固定資産売却益(△5) ・投資有価証券売却益(△5) ・関係会社株式売却益(+9)
特別損失	45	+67.9% +18	<ul style="list-style-type: none"> ・貸倒引当金繰入額(+10) ・減損損失(+2)
税金等調整前純利益	471	△0.1% △0	—
法人税等	163	+11.9% +17	—
非支配株主に 帰属する純利益	20	+188.4% +13	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	287	△9.8% △31	—

2020年度上期 連結営業利益増減分析



(億円)	連結	食品	医薬品	他
19年度上期実績	475	395	82	△2
売上増減	△30	△2	△28	—
薬価改定	△43	—	△43	—
原価の変動	+50 ^(*1)	+37	+13	—
経費等の削減	+15 ^(*2)	△0	+15	—
その他(子会社損益含む)	+37	+9	+27	+1
20年度上期実績	504	439	66	△1

*1: 主な内訳...【食品】原価計上方法変更+30、その他(歩留まり改善など)+7

【医薬品】原価低減+13

*2: 主な内訳...【食品】原価計上方法変更△30、マーケティング費用等の変動+34、その他△4

【医薬品】マーケティング費用等の変動+13、研究開発費+5、その他△3

2020年度上期 連結財政状態



(億円)	20年9月末 実績	前期末比	主な内容
流動資産	4,506	+8.1% +337	・現金及び預金(+259) ・原材料及び貯蔵品(+50) ・商品及び製品(+39)
固定資産	6,192	+6.4% +372	・投資有価証券(+358)
資産合計	10,699	+7.1% +709	—
流動負債	3,050	+18.9% +484	・コマーシャル・ペーパー(+500) ・短期借入金(+77) ・未払法人税等(+41) ・支払手形及び買掛金(△118)
固定負債	1,453	+0.3% +4	・繰延税金負債(+11) ・長期借入金(△2)
負債合計	4,503	+12.2% +489	—
株主資本	5,712	+3.2% +175	・利益剰余金(+169)
その他の包括利益 累計額	128	+41.3% +37	・その他有価証券評価差額金(+40) ・為替換算調整勘定(△18)
非支配株主持分	355	+2.0% +7	—
純資産合計	6,195	+3.7% +220	—
有利子負債	1,641	+53.8% +574	・コマーシャル・ペーパー(+500) ・短期借入金(+77) ・長期借入金(△2)
自己資本比率	54.6%	△1.7pt	—

2020年度上期 連結キャッシュフロー、株主還元



(億円)	20年度 上期実績	前年同期比	主な内容
営業キャッシュフロー	408	+68	<ul style="list-style-type: none"> ・法人税の支払額(+91) ・仕入債務の増加(+71) ・売上債権の増加(△135)
投資キャッシュフロー	△603	△240	<ul style="list-style-type: none"> ・投資有価証券の取得による支出(△320) ・有形固定資産の取得による支出(+56) ・連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入(+21)
フリーキャッシュフロー	△195	△172	—
1株あたり配当金	75.0円	+5.0円	

2020年度 連結計画



(億円)

	上期実績	前年同期比	下期計画 (差し引き)	前年同期比	通期計画		
						前年同期比	
連結	売上高	5,849	Δ5.4% Δ331	6,680	+5.3% +333	12,530	+0.0% +2
	営業利益	504	+5.9% +28	595	+8.1% +44	1,100	+7.1% +72
	経常利益	506	+3.9% +19	603	+10.5% +57	1,110	+7.4% +76
	親会社株主に帰属する 四半期純利益	287	Δ9.8% Δ31	407	+15.0% +53	695	+3.2% +21
食品	売上高	4,965	Δ5.1% Δ266	5,448	+3.5% +184	10,414	Δ0.8% Δ81
	営業利益	439	+11.1% +43	490	+2.7% +12	930	+6.5% +56
医薬品	売上高	891	Δ6.6% Δ62	1,231	+13.0% +142	2,123	+3.9% +79
	営業利益	66	Δ19.7% Δ16	113	+46.8% +36	180	+12.6% +20

(億円)		上期実績		下期計画 (差し引き)		通期計画	
			前年同期比		前年同期比		前年同期比
発酵 デリー	売上高	1,641	+1.1% +17	1,573	Δ4.9% Δ81	3,214	Δ2.0% Δ64
	営業利益	290	+40.1% +83	253	Δ8.4% Δ23	544	+12.4% +60
加工食品	売上高	908	Δ0.7% Δ6	899	+3.5% +30	1,808	+1.3% +23
	営業利益	44	Δ9.8% Δ4	48	+39.0% +13	92	+10.6% +8
菓子	売上高	469	Δ10.4% Δ54	769	+11.7% +80	1,238	+2.1% +25
	営業利益	35	Δ48.2% Δ33	161	+33.2% +40	197	+3.8% +7
栄養	売上高	480	+2.5% +11	443	+1.4% +6	924	+1.9% +17
	営業利益	85	Δ2.6% Δ2	55	Δ19.8% Δ13	141	Δ10.2% Δ16

(億円)		上期実績		下期計画 (差し引き)		通期計画	
			前年同期比		前年同期比		前年同期比
海外	売上高	233	+0.4% +0	307	+22.0% +55	540	+11.6% +56
	営業利益	6	△25.2% △2	11	+38.3% +3	17	+7.0% +1
国内 その他 子会社	売上高	1,232	△16.0% △234	1,455	+6.9% +93	2,687	△5.0% △140
	営業利益	17	△16.9% △3	25	+71.1% +10	42	+19.7% +7
全社 共通費	売上高	—	—	—	—	—	—
	営業利益	△40	— +6	△65	— △18	△106	— △11

(億円)	食品全体	発酵 デリー	加工食品	菓子	栄養	海外	その他 国内 子会社	全社 共通費	
19年度上期営業利益	395	207	48	68	88	8	20	△46	
前年 増減額	売上増減	△2	+26	+3	△39	+7	+1	—	+0
	原価の変動	+37	+9	+5	+20	+8	△1	—	△3
	経費等の増減	△0	+40	△14	△9	△15	△3	—	+0
	マーケティング費用等 の変動	+34	+26	△6	+10	+1	△2	—	+4
	その他費用の変動 (内、研究開発費)	△34 (+0)	+14	△8	△19	△16	△1	—	△4
その他 (子会社損益など)	+9	+8	+1	△5	△2	+1	△3	+9	
20年度上期営業利益	439	290	44	35	85	6	17	△40	

(億円)	食品全体	発酵 ディリー	加工食品	菓子	栄養	海外	その他 国内 子会社	全社 共通費	
19年度上期営業利益	395	207	48	68	88	8	20	△46	
前年増減額	売上増減	△2	+26	+3	△39	+7	+1	—	+0
	原価の変動	+7	+9	+1	△0	+2	△1	—	△3
	経費等の増減	+30	+40	△10	+11	△9	△3	—	+0
	マーケティング費用等 の変動	+34	+26	△6	+10	+1	△2	—	+4
	その他費用の変動 (内、研究開発費)	△4 (+0)	+14	△4	+1	△10	△1	—	△4
その他 (子会社損益など)	+9	+8	+1	△5	△2	+1	△3	+9	
20年度上期営業利益	439	290	44	35	85	6	17	△40	

8月12日発表の説明会資料について赤枠内の数値を修正します。

(億円)	食品全体	発酵 ディリー	加工食品	菓子	栄養	海外	その他 国内 子会社	全社 共通費	
19年度1Q営業利益	196	104	18	40	41	2	8	△20	
前年 増減額	売上増減	△3	+21	△4	△21	+0	+0	+0	
	原価の変動	+17	+4	+2	+9	+3	+0	△1	
	経費等の増減	+15	+27	+2	△3	△5	△1	△5	
	マーケティング費用等 の変動	+31	+21	+5	+6	+2	△1	—	△3
	その他費用の変動 (内、研究開発費)	△16 (△0)	+5	△3	△9	△7	△0	—	△3
	その他 (子会社損益など)	+10	+5	+1	△3	△1	+2	△1	+7
20年度1Q営業利益	235	162	19	23	39	2	7	△20	

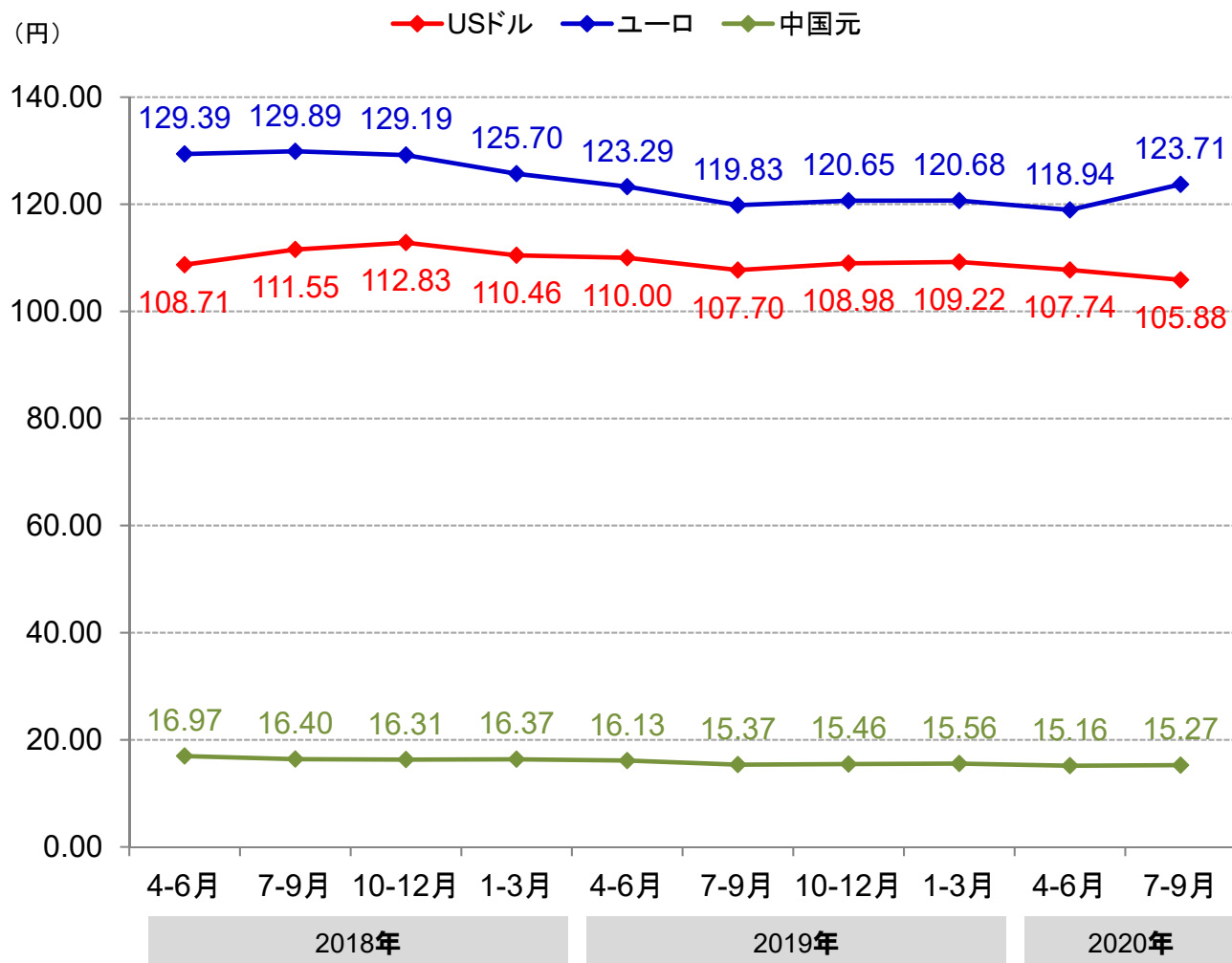
(億円)	19年度 上期実績	20年度 上期実績	20年度		20年度 通期計画
			前年同期 増減率	通期計画 進捗率	
ヨーグルト	433	443	+2.3%	50.5%	879
明治ブルガリアヨーグルト	390	406	+4.1%	51.0%	797
プロバイオティクスヨーグルト	495	565	+14.1%	48.1%	1,175
牛乳類	585	568	△2.9%	54.5%	1,044
明治おいしい牛乳	299	327	+9.3%	55.4%	589
チーズ	181	183	+0.8%	47.0%	390
明治北海道十勝チーズ	69	74	+8.1%	46.3%	161
アイスクリーム	275	279	+1.4%	58.9%	473
チョコレート	393	381	△3.0%	38.2%	1,000
栄養食品	295	299	+1.4%	49.6%	605
スポーツ栄養	115	130	+13.0%	63.3%	206

(億円)		上期実績		下期計画 (差し引き)		通期	
			前年同期比		前年同期比		前年同期比
国内	売上高	631	Δ3.9% Δ25	821	+8.0% +60	1,453	+2.5% +35
	営業利益	Δ11	— Δ65	77	+81.7% +34	66	Δ31.1% Δ30
海外	売上高	188	Δ15.3% Δ33	286	+34.6% +73	474	+9.1% +39
	営業利益	26	+30.8% +6	31	+358.3% +24	58	+113.5% +30
KM バイオロジクス	売上高	184	+9.0% +15	248	+5.5% +13	433	+7.0% +28
	営業利益	33	+319.1% +25	6	Δ79.4% Δ24	40	+2.6% +1
修正・消去	売上高	Δ112	— Δ18	Δ125	— Δ5	Δ238	— Δ23
	営業利益	16	— +17	Δ1	— +1	15	— +18

(億円)	19年度 上期実績	20年度 上期実績	前年同期 増減率	通期計画 進捗率	20年度 通期計画
国内医療用医薬品(Meiji Seika ファルマ単体実績)					
シクレスト	20	20	△1.6%	39.2%	52
ピラノア	21	24	+15.4%	23.1%	106
リフレックス(GE含む)	43	33	△23.7%	50.3%	66
メイアクト(GE含む)	25	11	△54.1%	22.3%	52
タゾピペ	40	28	△28.8%	36.0%	80
ヒト用ワクチン計	107	186	+73.4%	61.6%	302
インフルエンザHAワクチン	70	109	+54.5%	72.5%	151
KMバイオロジクス(単体実績)					
ヒト用ワクチン計	102	126	+22.4%	40.6%	310
血漿分画製剤計	35	37	+4.4%	48.2%	76

主要通貨と当社平均レート

主要通貨と当社平均レートの推移



20年度計画の為替前提

USD	110円
ユーロ	120円
中国元	15円

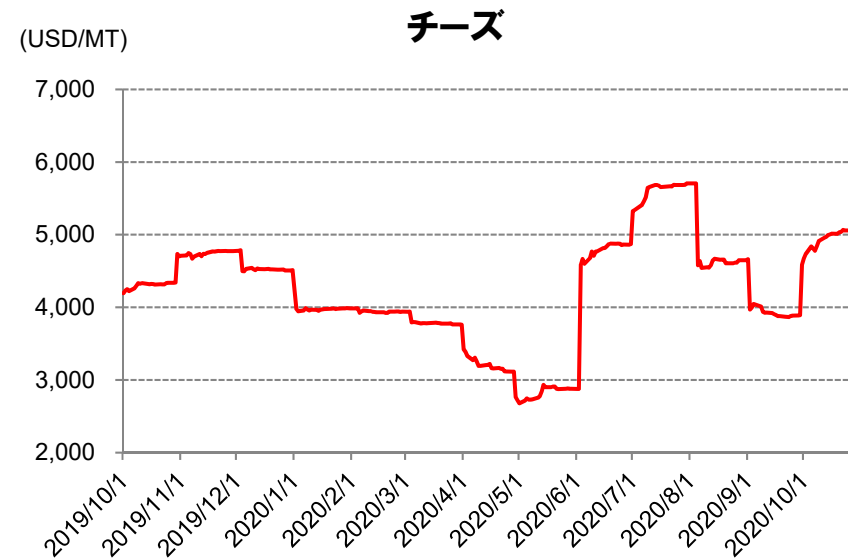
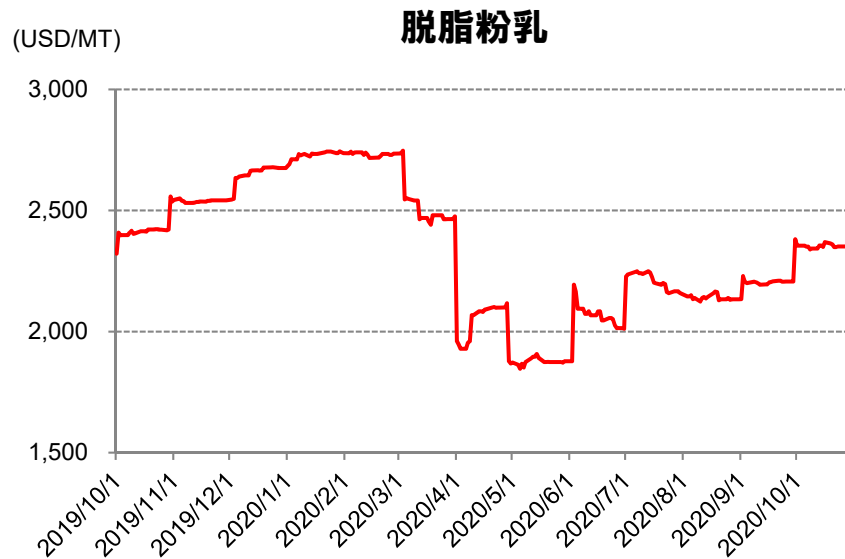
2020中計の為替前提

USD	食品 115円 薬品 110円
ユーロ	食品 125円 薬品 120円
中国元	食品・薬品 16円



参考資料:トピックス

主要輸入原料相場の動向

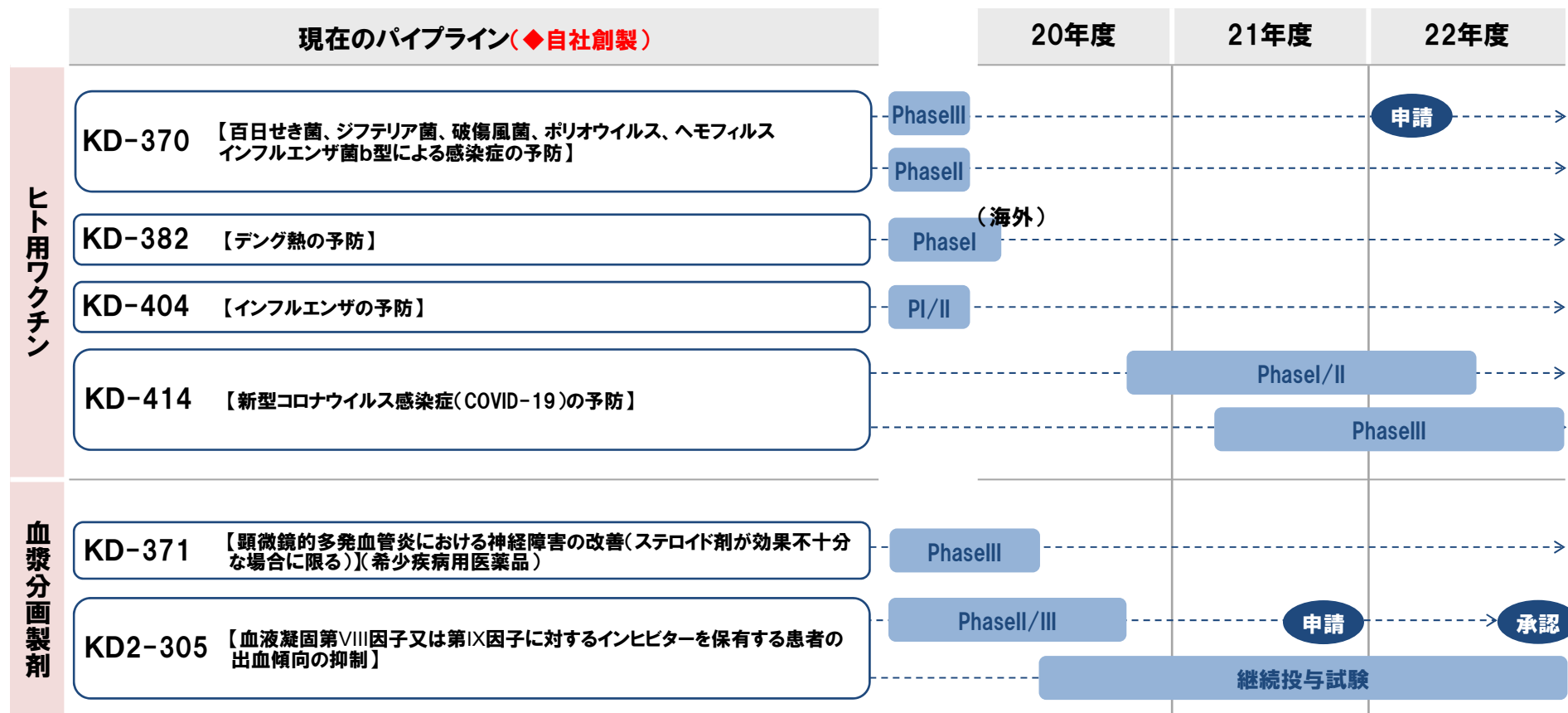


開発パイプライン①



現在のパイプライン(◆自社創製)		20年度	21年度	22年度
感染症	ME1100 アルベカシン【院内感染肺炎/人工呼吸器関連肺炎治療薬】◆	PIb (海外)		
	OP0595 ナキュバクタム【β-ラクタマーゼ阻害薬】◆	PI 併用		
中枢神経系	ME2112 ジブラシドン【統合失調症治療薬】	PhaseIII		
その他	HBI-8000 ツシジノスタット【再発・難治性成人T細胞白血病/リンパ腫治療薬(ATLL)】	PhaseII	申請	承認
	HBI-8000 ツシジノスタット【再発・難治性末梢性T細胞リンパ腫治療薬(PTCL)】	PhaseII		
	SP-02L ダリナパルシン【再発・難治性末梢性T細胞リンパ腫治療薬(PTCL)】	PhaseII	申請	
	DMB-3111【トラスツズマブ(ハーセプチン バイオ後続品)】	(PI終了)		
	DMB-3115【ウステキヌマブ(ステラーラ バイオ後続品)】	PhaseI (海外)		

開発パイプライン②

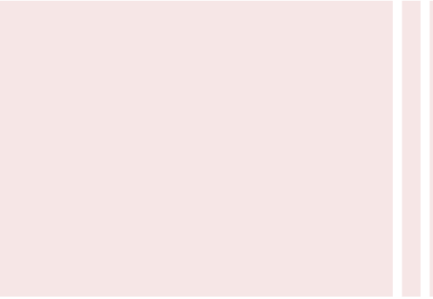


(注)※印は導出した品目。導出先や対象地域などの詳細については、当社ホームページをご参照ください

開発パイプライン③



現在のパイプライン(◆自社創製)		20年度	21年度	22年度
農薬	ME5382 【殺虫剤/Flupyrimin】 ◆	登録 (海外)		
	ME5343 【殺虫剤/Afidopyropene】 BASF社と共同開発 ◆ (MeijiSeikaファルマと北里研究所との共同研究で発見)	登録 (海外)		
	ANM-138 【殺虫剤/Flometoquin】 日本化薬と共同開発 ◆	登録	登録 (海外)	
	ME5223 【殺菌剤/Fenpicoxamid】 Corteva Agriscience社と共同開発 ◆	登録 (海外)		
動物薬	ME4129 適応拡大 【抗菌性注射剤】	承認		
	ME4136 【抗菌性注射剤】	承認		
	ME4137 【抗菌性注射剤】	申請		承認
	ME4406 【飼料添加物】		申請	
	ME4204 適応拡大 【経口駆虫剤】	申請		承認
	ME4624 【ワクチン】	申請	承認	
	KD-390 【鶏用ワクチン】 ◆	承認		
	KD-377 【豚用ワクチン】 ◆	申請	承認	
	KD-386 【豚用ワクチン】 ◆	申請		承認
	KD-395 【豚用ワクチン】 ◆		申請	



meiji

